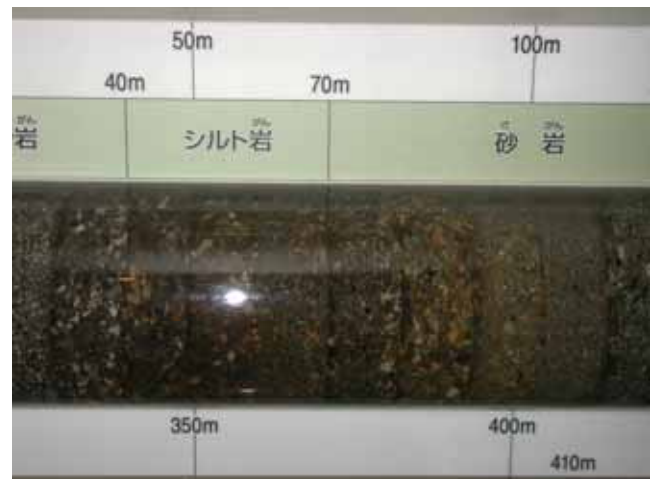
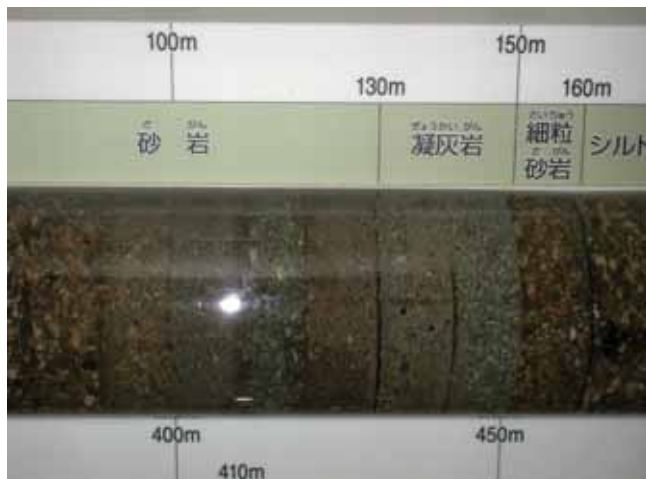


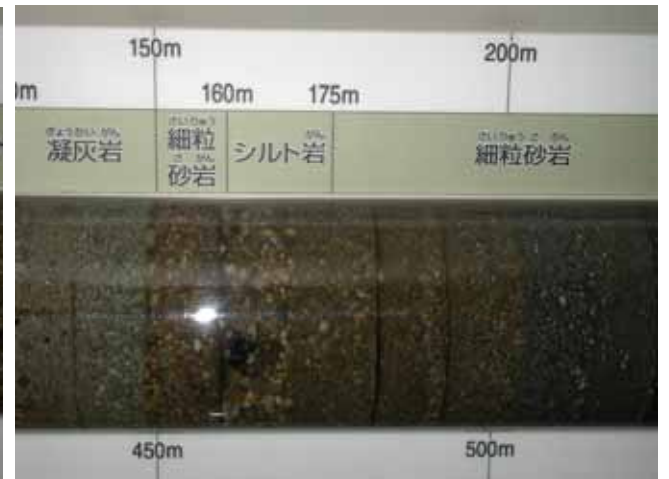
0 ~ 50m



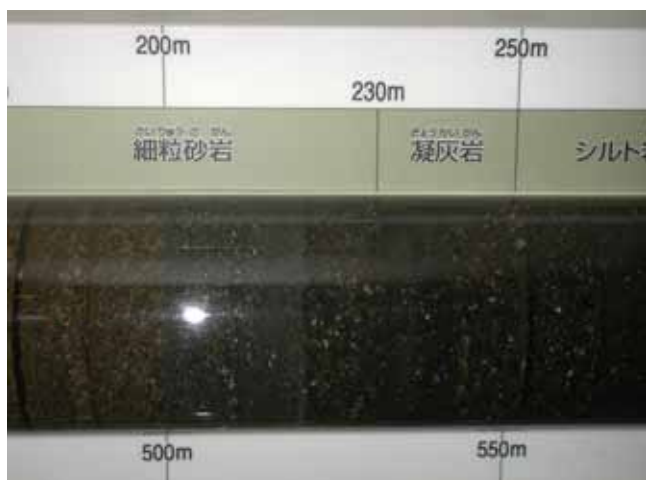
50 ~ 100m



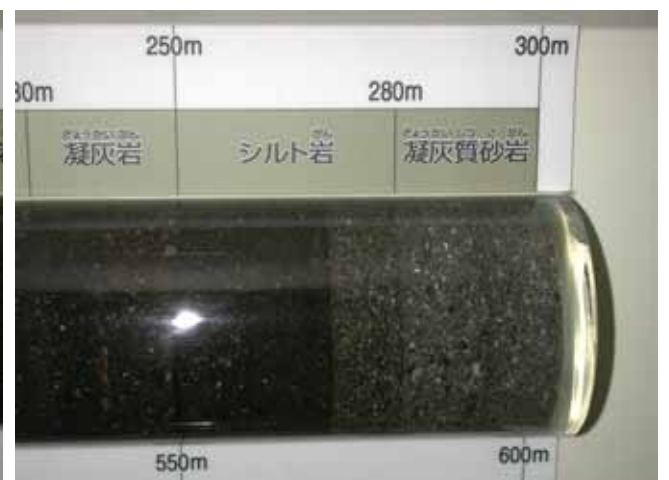
100 ~ 150m



150 ~ 200m

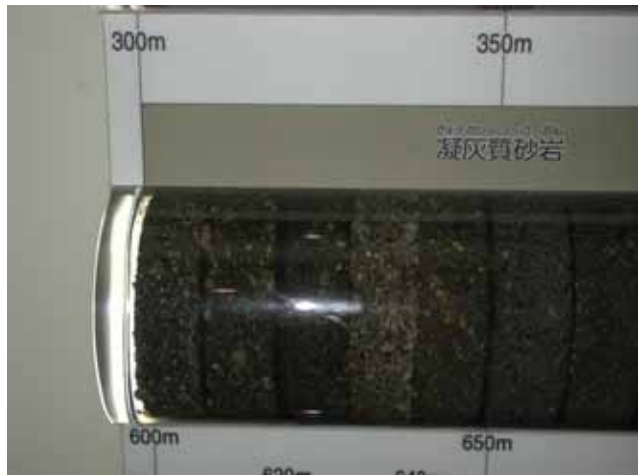


200 ~ 250m

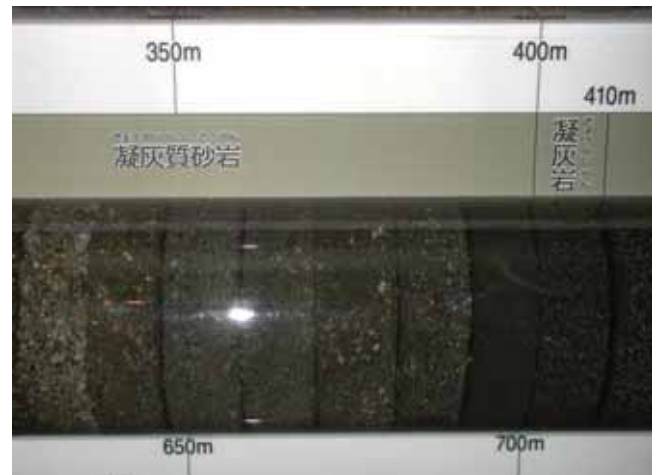


250 ~ 300m

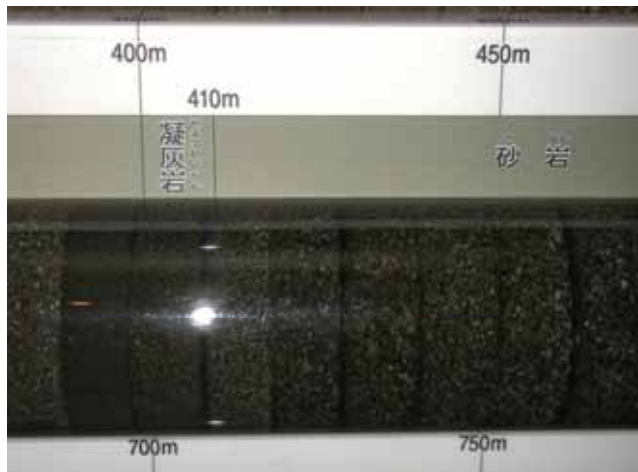
図2 ポーリング試料の接写(0 ~ 300m)



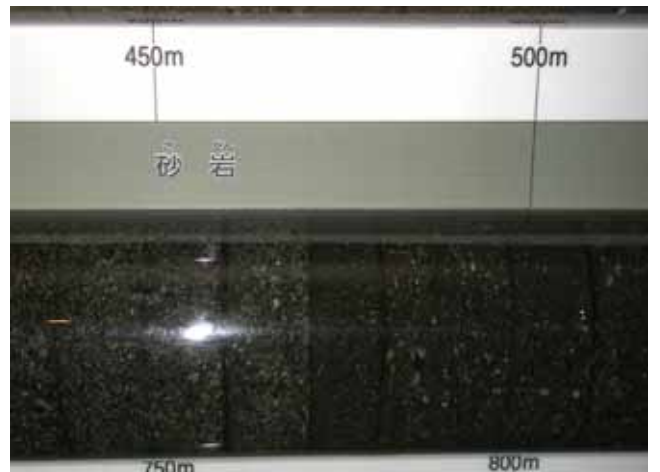
300 ~ 350m



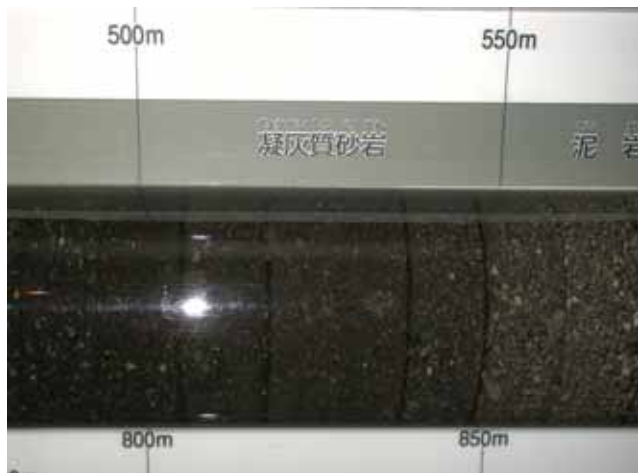
350 ~ 400m



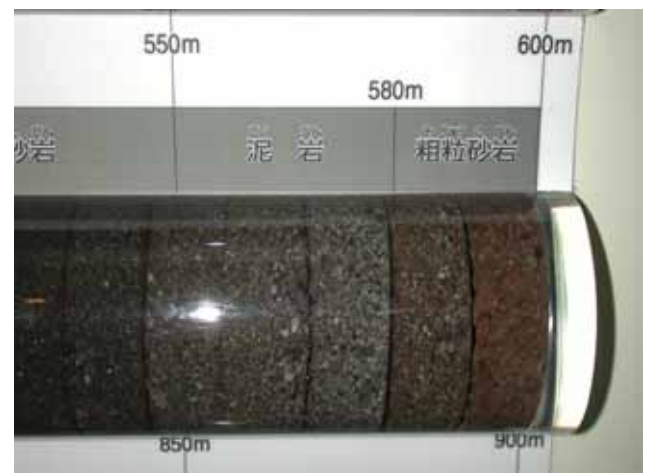
400 ~ 450m



450 ~ 500m

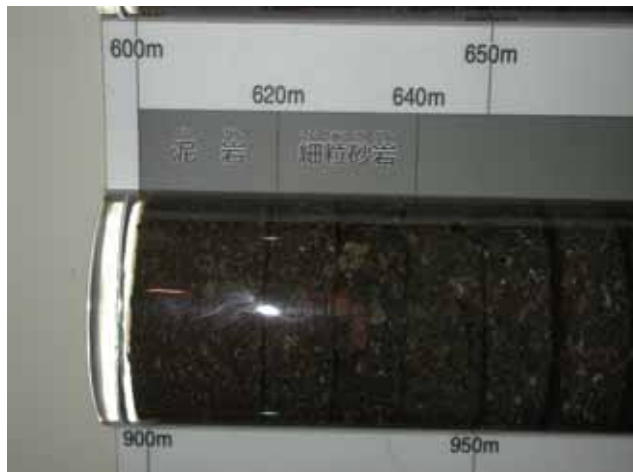


500 ~ 550m

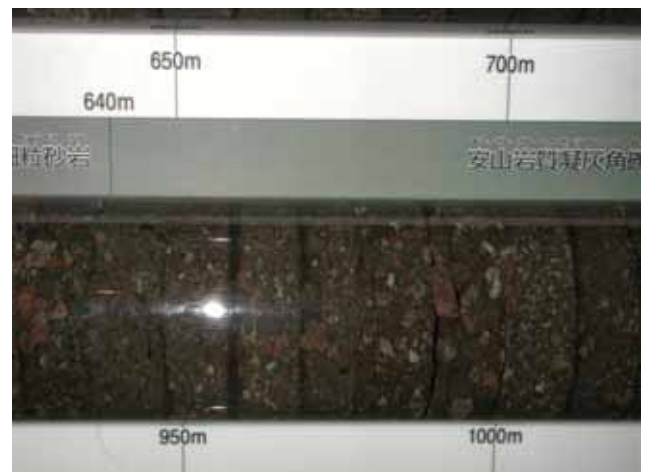


550 ~ 600m

図3 ボーリング試料の接写 (300 ~ 600m)



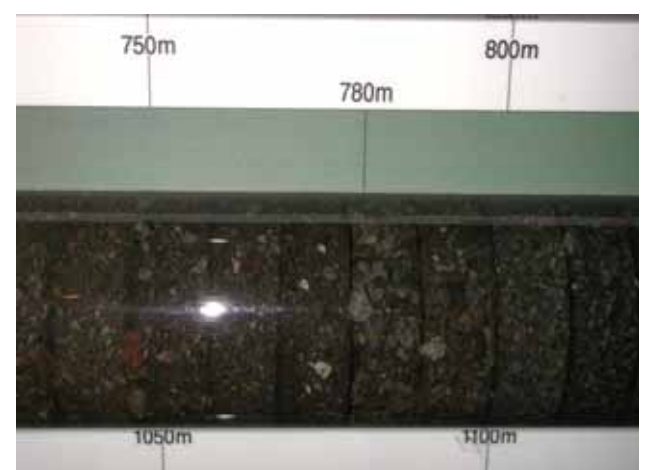
600 ~ 650m



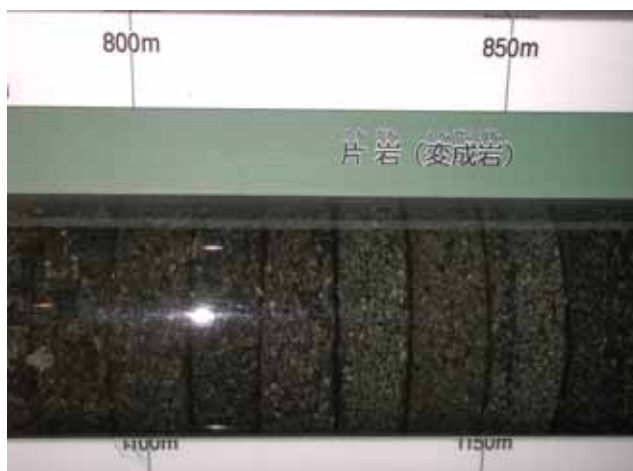
650 ~ 700m



700 ~ 750m



750 ~ 800m



800 ~ 850m



850 ~ 900m

図4 ボーリング試料の接写 (600 ~ 900m)



図1 愛宕橋温泉ボーリング試料(仙台市科学館蔵)  
(1996年10月仙台駅南方約2km地点で掘削。柱状の試料は10m  
毎のスライムを樹脂で固め300m毎に並べた物)



地下800m, 900m, 1000m地点のコア



片岩(地下800m, 条線あり。クロライト生成) 片岩(地下890m, 条線あり。クロライト生成)

図9 地下800m, 900m, 1000m地点のコア及びその近接撮影



地下697m～700mのボーリングコア



地下697～699.3mのコア。凝灰角礫岩主体



コアの端面。条線、クロライトが見られる。

図8 地下697m～700mのボーリングコア及びその近接撮影



地下565～568mのボーリングコア



地下567.7～567.8m, 凝灰角礫岩



地下566.8m付近, 泥岩(変質安山岩様)

図7 地下565～568mのボーリングコア及びその近接撮影



地下, 300m,400m,501 ~ 503mのコア



地下300 ~ 300.3m。凝灰質砂岩。葉理が見られる。(傾斜15°)



地下400m。やや凝灰質な泥岩



地下502.6 ~ 502.9m, 泥質砂岩

図6 地下, 300m,400m,501 ~ 503mのコア及びその近接撮影





地下175～178mのボーリングコア



地下175～175.5m, 礫質砂岩  
火山細礫を多量に含む



地下176.6m, 泥質砂岩

図5 地下175～178mのボーリングコア及びその近接撮影